

学位論文の書き方等について

0. 目次

1. 論文の構成	1
2. 表紙.....	1
3. 論文要旨.....	2
4. 目次.....	2
5. 本文.....	3
6. 付録.....	3
7. 文献.....	4
8. 審査用論文の提出.....	11
9. 製本用論文の提出.....	11
10. 参考文献.....	11

1. 論文の構成

論文の構成は次の通りとしてください。

- ・ 表紙
- ・ 論文要旨
- ・ 目次
- ・ 本文
- ・ 付録
- ・ 文献

2. 表紙

- ・ 題目に副題が付く場合は、全角ダッシュ（―）で括ってください。

(例)

課題研究論文（インターンシップ） 平成××（20××）年度	←	論文の種類は「修士論文」、「課題研究論文（インターンシップ）」、「課題研究論文（CNS実習）」のいずれかを選択する。
論 文 題 目		
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 修士課程〇〇〇専修 氏 名	←	看護学専修の場合は分野名も記載する。

3. 論文要旨

- ・ 題目は和文と英文を記載してください。
- ・ 論文要旨を 600 字以内にまとめてください。
- ・ キーワードを原則として 5 つ記入してください（やむを得ない場合は 5 つ未満でも可）。英文キーワードも記載してください。

(例)

課題研究論文（インターンシップ） ←

平成××（20××）年度

論文題目

Title

論文要旨

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

キーワード

○○○、○○○、○○○、○○○、○○○

Key Word

XXX, XXX, XXX, XXX, XXX

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科
修士課程○○○専修 ←

氏名

論文の種類は「修士論文」、「課題研究論文（インターンシップ）」、「課題研究論文（CNS実習）」のいずれかを選択する。

看護学専修の場合は分野名も記載する。

4. 目次

- ・ ページ番号は、ページ下中央に、アラビア数字（0 1 2 3 4 5 6 7 8 9）を使って振ってください。
- ・ 目次では、本文の章には章番号と章題をつけ、節も同様にしてください。章と節といった上位と下位の分類が混同しないように、番号の振り方などに注意して、区別をはっきりさせてください。

(例)

目次

第 1 章 ○○○○

第 1 節 ○○○○ 1

第 2 節 ○○○○ 1

第 2 章 ○○○○

第 1 節 ○○○○ 4

第 2 節 ○○○○ 6

第 3 章 ○○○○

第 1 節 ○○○○ 10

第 2 節 ○○○○ 15

第 3 節 ○○○○ 18

第 4 節 ○○○○ 22

第 1 章 ○○○○

第 1 節 ○○○○

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

第 2 節 ○○○○

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

1

[illegible]

5. 本文

- 章、節のたて方、章、節の名称、順序などは自由です。以下はその一例です。

(例)	<table><tr><td data-bbox="526 291 853 642">1. 研究の背景 研究のきっかけ 先行研究 2. 研究の目的 研究の目的・意義 3. 研究の方法 研究・調査の方法 研究・調査の対象 分析方法 倫理的配慮</td><td data-bbox="853 291 1173 642">4. 研究の結果と考察 結果の詳細 結果の考察 研究の限界・課題 5. 結論 研究成果のまとめ 謝辞 付録 文献</td></tr></table>	1. 研究の背景 研究のきっかけ 先行研究 2. 研究の目的 研究の目的・意義 3. 研究の方法 研究・調査の方法 研究・調査の対象 分析方法 倫理的配慮	4. 研究の結果と考察 結果の詳細 結果の考察 研究の限界・課題 5. 結論 研究成果のまとめ 謝辞 付録 文献
1. 研究の背景 研究のきっかけ 先行研究 2. 研究の目的 研究の目的・意義 3. 研究の方法 研究・調査の方法 研究・調査の対象 分析方法 倫理的配慮	4. 研究の結果と考察 結果の詳細 結果の考察 研究の限界・課題 5. 結論 研究成果のまとめ 謝辞 付録 文献		

- 当用漢字、現代かな遣いを原則とし、外国語をカナ書きする場合はカタカナを用いてください。欧文綴りおよび数値は半角または欧文フォントを使ってください。
- 原則としてA4判縦、横書き、左綴じとします。上下左右の余白は 25 ミリメートル以上としてください。
- 読みやすくなるように、文字の大きさや行の間隔を調整してください。1 ページあたりの字数は 1,000 から 1,200 を目安としてください。
- 図や表は、できる限り本文の該当する場所に、見やすい形で挿入してください。図や表には別々に通し番号とタイトルを付けてください（章ごとに、例えば、図 2-1、図 2-2、図 3-1、表 3-1、表 3-2、表 4-2 のように番号を付してください）。図の番号とタイトルは図の下に、表の番号とタイトルは表の上に付してください。
- 写真を挿入する場合には白黒の鮮明な画面のものを使ってください。
- 図表および写真は白黒印刷となります。

6. 付録

- 「本文」中に入れるには詳細すぎたり、本文の議論の進行を妨げるおそれのある説明や実例、証明をつけ加える部分です。例えば、実験結果や資料、データがこれに相当します。「付録」は必ず必要なわけではありません。

7. 文献

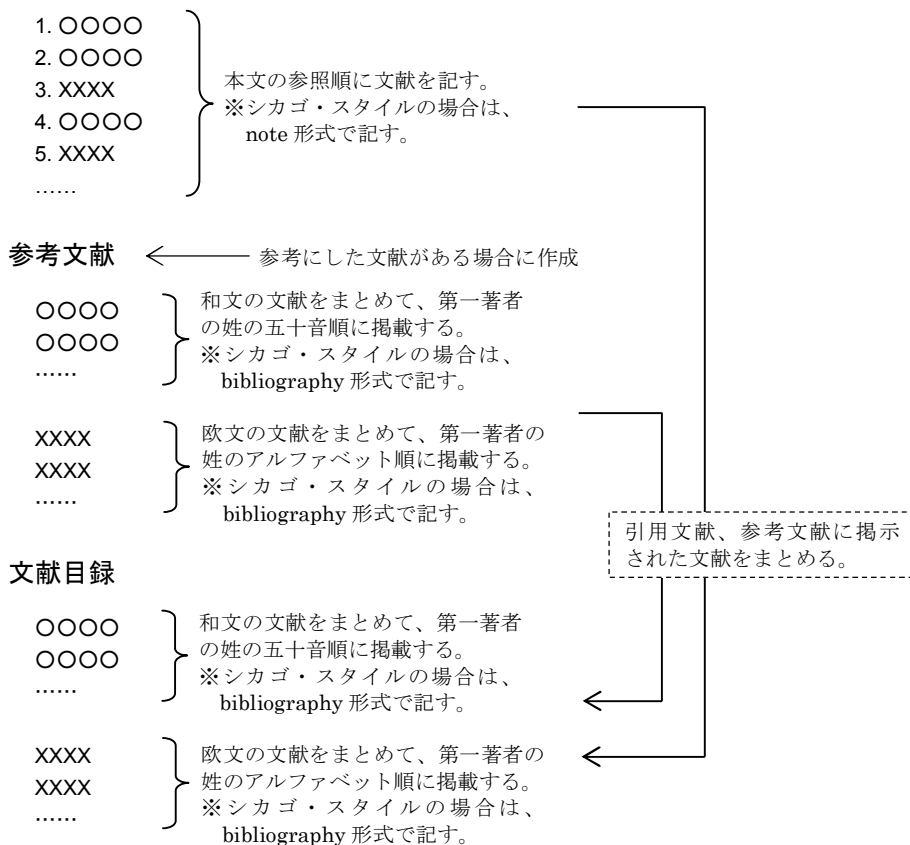
- 引用文献は、本文の引用箇所の右肩に番号をつけ、論文の最後に参照順に一括して掲げてください。

(例1)である¹⁾。
である^{1,2)}。
である¹⁻³⁾。
である^{1-3,5)}。
である^{1,5,7)}。

(例2)である¹。
である^{1,2}。
である¹⁻³。
である^{1-3,5}。
である^{1,5,7}。

- 文献の一覧を作成するにあたっては、誤記等を避けるためにも、できる限り文献情報管理ソフト (RefWorks、EndNote) を使用してください。
- 文献は統一の形式 (スタイル) で作成してください。参考例として、シカゴ・スタイル (標準的なスタイル) と日本医療・病院管理学会の執筆要領 (学会指定の形式) を示します。
- 引用文献 (notes)、参考文献に加えて、文献目録 (bibliography) を作成する場合には、和文の文献、欧文の文献をそれぞれまとめ、和文の文献は著者 (共著は第一著者) の姓の五十音順に、欧文の文献は、著者 (共著は第一著者) の姓のアルファベット順に記してください。

(例) 引用文献



〔参考例：シカゴ・スタイル〕

※詳細は『The Chicago Manual of Style』を参照してください。

◆ 単行本

- ・ 文献情報として以下の項目を記してください。
 - 1) 著者名
 - 2) 書名
 - 3) 編者、編纂者、訳者
 - 4) 版
 - 5) 巻数
 - 6) シリーズ名
 - 7) 出版地、出版者、出版年
 - 8) ページ
 - 9) URL、媒体（CD-ROM 等）
- ・ 著者名
 - － 共著については、3 名までの場合は全員記し、4 名以上の場合は最初の 1 名を記して、残りは「—— and others」「——他」としてください。
 - － 著者が記されていない場合には、編者名あるいは訳者名、団体名を記してください。
 - － Bibliography に欧文書を記す場合、第一著者名のみ姓と名をカンマ（,）で挟んで「姓、名」の順で表記してください。
- ・ 書名
 - － 欧文書の場合は斜字体で記し、和文書の場合にはかぎカッコ（『』）で括ってください。
 - － 副題がある場合は、本題と副題をコロン（:）でつないでください。
 - － 特定の章を引用した場合、該当する章題は、欧文書の場合は二重引用符（“”）で括り、和文書の場合はカッコ（「」）で括ってください。
- ・ 編者、編纂者、訳者
 - － 著者名のほかに標題紙に編者、編纂者、訳者の名前がある場合には、当該者を記してください。
 - － 編者、編纂者は「xxx ed.」「〇〇編」、訳者は「xxx trans.」「〇〇訳」としてください。
- ・ 版
 - － 初版以外は記してください。表記方法は、「2nd ed.」「2 版」、「rev. ed.」「改訂版」など。
- ・ 巻数
 - － 全巻が引用対象の場合は、全巻数を記してください。例えば「2 vols.」「2 巻」など。
 - － 特定の巻が引用対象の場合は、当該巻の番号を記してください。例えば「vol. 2」「第 2 巻」など。
- ・ シリーズ名
 - － シリーズものの場合はシリーズ名を記してください。番号がある場合には番号を添えてください。
- ・ 頁
 - － 本全体が引用対象の場合は頁を記す必要はありませんが、特定の頁を引用した場合には該当頁を記してください。

- ・ 以下に参考事例を示します。なお、N は note 形式を、B は bibliography 形式を表します。

—単著—

- N: 1. Salman Rushdie, *The Ground beneath Her Feet* (New York: Henry Holt, 1999).
 2. 大西祥平『健康寿命をのばす本：カラダ再生』（東京：東京新聞出版局, 2007).
 B: Rushdie, Salman. *The Ground beneath Her Feet*. New York: Henry Holt, 1999.

—共著—

- N: 3. Kurt Johnson and Steve Coates, *Nabokov's Blues: The Scientific Odyssey of a Literary Genius* (Cambridge, MA: Zoland Books, 1999).
 N: 4. 山崎元, 大谷俊郎, 辻岡三南子『中高年のためのスポーツ医学Q & A』（東京：世界文化社, 2009).
 N: 5. Jeri A. Sechzer and others, eds., *Women and Mental Health* (Baltimore: Johns Hopkins University Press, 1996), 243.
 B: Harnack, Andrew, and Eugene Kleppinger. *Online! A Reference Guide to Using Internet Sources*. 3rd ed. New York: St. Martin's Press, 2000.

—著者に相当する編者や訳者がいる場合—

- N: 6. Ori Z. Soltes, ed., *Georgia: Art and Civilization through the Ages* (London: Philip Wilson, 1999), 280.
 N: 7. Theodore Silverstein, trans., *Sir Gawain and the Green Knight* (Chicago: University of Chicago Press, 1974), 34.
 B: Silverstein, Theodore, trans. *Sir Gawain and the Green Knight*. Chicago: University of Chicago Press, 1974.
 B: Soltes, Ori Z., ed. *Georgia: Art and Civilization through the Ages*. London: Philip Wilson, 1999.

—著者のほかに標題紙に編者や訳者がいる場合—

- N: 8. Yves Bonnefoy, *New and Selected Poems*, ed. John Naughton and Anthony Rudolf (Chicago: University of Chicago Press, 1995).
 N: 9. Rigoberta Menchú, *Crossing Borders*, trans. and ed. Ann Wright (New York: Verso, 1999).
 N: 10. Theodor W. Adorno and Walter Benjamin, *The Complete Correspondence, 1928-1940*, ed. Henri Lonitz, trans. Nicholas Walker (Cambridge, MA: Harvard University Press, 1999).
 N: 11. Philip Kotler, Eduardo L. Roberto『ソーシャル・マーケティング：行動変革のための戦略』井関利明監訳（東京：ダイヤモンド社, 1995).
 B: Adorno, Theodor W. and Walter Benjamin. *The Complete Correspondence, 1928-1940*. Edited by Henri Lonitz. Translated by Nicholas Walker. Cambridge, MA: Harvard University Press, 1999.
 B: Bonnefoy, Yves. *New and Selected Poems*. Edited by John Naughton and Anthony Rudolf. Chicago: University of Chicago Press, 1995.
 B: Menchú, Rigoberta. *Crossing Borders*. Translated and edited by Ann Wright. New York: Verso, 1999.

—著者に相当する団体などがいる場合—

- B: University of Chicago Press. *The Chicago Manual of Style*. 15th ed. Chicago: University of Chicago Press, 2003.
 B: World Health Organization. *WHO Editorial Style Manual*. Geneva: World Health Organization, 1993.
 B: SSF 笹川スポーツ財団『スポーツ白書：スポーツの新たな価値の発見』東京：SSF 笹川スポーツ財団, 2006.

—原著と訳本を同時に記す場合—

- B: Fuet, François. *Le passé d' une illusion*. Paris: Éditions Robert Laffont, 1995.
Translated by Deborah Fuet as *The Passing of an Illusion* (Chicago: University of Chicago Press, 1999).

または

- B: Fuet, François. *The Passing of an Illusion*. Translated by Deborah Fuet. Chicago: University of Chicago Press, 1999. Originally published as *Le passé d' une illusion* (Paris: Éditions Robert Laffont, 1995).

- B: Drucker, Peter F. *Managing the Nonprofit Organization: Practices and Principles*. New York: Harper Collins, 1990. 上田惇生, 田代正美訳『非営利組織の経営: 原理と実践』(東京: ダイヤモンド社, 1991).

または

- B: Drucker, Peter F.『非営利組織の経営: 原理と実践』上田惇生, 田代正美訳, 東京: ダイヤモンド社, 1991. 原書名 *Managing the nonprofit organization* (New York: Harper Collins, 1990).

—特定の章を引用した場合—

- N: 12. Brenda Phibbs, “Herrlisheim: Diary of a Battle,” in *The Other Side of Time: A Combat Surgeon in World War II* (Boston: Little, Brown, 1987), 117-63.
N: 13. 佐野毅彦「アメリカのプロスポーツビジネス」17 章『スポーツ産業論』原田宗彦編著, 第4版 (東京: 杏林書院, 2007) 201-213.
B: Ashbrook, James B., and Carol Rausch Albright. “The Frontal Lobes, Intending, and a Puposeful God.” Chap. 7 in *The Humanizing Brain*. Cleveland, OH: Pilgrim Press, 1997.

—版表示 (初版以外) —

- N: 14. Karen V. Harper-Dorton and Martin Herbert, *Working with Children, Adolescents, and Their Families*, 3rd ed. (Chicago: Lyceum Books, 2002), 43.
B: Stunk, William, Jr., and E. B. White. *The Elements of Style*. 4th ed. New York: Allyn and Bacon, 2000.

—多数巻の場合 (全巻の引用) —

- B: Aristotle. *Complete Works of Aristotle: The Revised Oxford Translation*. Edited by J. Barnes. 2 vols. Bollingen Series. Princeton, NJ: Princeton University Press, 1983.
B: Byrne, Muriel St. Clare, ed. *The Lisle Letters*. 6 vols. Chicago: University of Chicago Press, 1981.

—多数巻の場合 (特定の巻の引用) —

- N: 15. Muriel St. Clare Byrne, ed., *The Lisle Letters* (Chicago: University of Chicago Press, 1981), 4:243.
16. Sewell Wright, *Evolution and the Genetics of Populations*, vol. 2, *Theory of Gene Frequencies* (Chicago: University of Chicago Press, 1969), 129.
B: Pelikan, Jaroslav. *The Christian Tradition: A History of the Development of Doctrine*. Vol. 1, *The Emergence of the Catholic Tradition*. Chicago: University of Chicago Press, 1971.

—シリーズ名—

- N: 17. Gershon David Hundert, *The Jews in a Polish Private Town: The Case of Opatów in the Eighteenth Century*, Johns Hopkins Jewish Studies (Baltimore: Johns Hopkins University Press, 1992).
B: *The Cahokia Atlas: A Historical Atlas of Cahokia Archaeology*. Studies in Illinois Archaeology 6. Springfield: Illinois Historic Preservation Agency, 1989.
B: Crenier, Roger. *Les larmes d'Ulysse*. Collection l'un et l'autre. Paris: Galimard, 1998.

—オンライン版の場合—

- N: 18. J. Sirosh, R. Miikkulainen, and J. A. Bednar, “Self-Organization of Orientation Maps, Lateral Connections, and Dynamic Receptive Fields in the Primary Visual Cortex,” in *Lateral Interactions in the Cortex: Structure and Function*, ed. J. Sirosh, R. Miikkulainen, and Y. Choe (Austin, TX: UTCS Neural Networks Research Group, 1996), <http://www.cs.utexas.edu/users/nn/web-pubs/htmlbook96/> (accessed August 27, 2001).
- B: Sirosh, J., R. Miikkulainen, and J. A. Bednar. “Self-Organization of Orientation Maps, Lateral Connections, and Dynamic Receptive Fields in the Primary Visual Cortex.” In *Lateral Interactions in the Cortex: Structure and Function*, edited by J. Sirosh, R. Miikkulainen, and Y. Choe. Austin, TX: UTCS Neural Networks Research Group, 1996. <http://www.cs.utexas.edu/users/nn/web-pubs/htmlbook96/> (accessed August 27, 2001).

◆ 学術雑誌の論文

- ・ 文献情報として、以下の項目を記してください。
 - 1) 著者名
 - 2) 論文名
 - 3) 雑誌名
 - 4) 巻、号
 - 5) 出版年
 - 6) ページ
 - 7) URL
- ・ 論文名
 - 欧文の場合は二重引用符 (“”) で括り、和文の場合はカッコ (「」) で括ってください。
- ・ 雑誌名
 - 欧文の場合は斜字体で記し、和文の場合はかぎカッコ (『』) で括ってください。
- ・ 以下に参考事例を示します。なお、Nはnote形式を、Bはbibliography形式を表します。

N: 1. Christopher S. Mackay, “Lactantius and the Succession to Diocletian,” *Classical Philology* 94, no. 2 (1999): 205.

N: 2. 高木安雄「自治体立病院を民間委譲で改革することの意義と課題：福岡県立病院改革の答申をまとめて」『病院』62巻3号(2003): 203-207.

B: McMillen, Sally G. “Antebellum Southern Fathers and the Health Care of Children.” *Journal of Southern History* 60, no. 3 (1994): 513-32.

B: White, Stephen A. “Callimachus Battiades (Epigr. 35).” *Classical Philology* 94 (April 1999): 168-81.

◆ 雑誌記事

- ・ 学術雑誌に準じます。ただし、巻号がわかっている場合でも巻号に代わって日付を記してください。

N: 1. Stephen Lacey, “The New German Style,” *Horticulture*, March 2000, 44.

2. Jessica Reaves, “A Weighty Issue: Ever-Fatter Kids,” interview with James Rosen, *Time*, March 14, 2001, <http://www.time.com/time/nation/article/0,8599,102443,00.html>.

3. 杉山茂『内容・プロセス軽視』の中継『放送文化』2008夏, 42-47.

B: Reaves, Jessica. “A Weighty Issue: Ever-Fatter Kids.” Interview with James Rosen. *Time*, March 14, 2001. <http://www.time.com/time/nation/article/0,8599,102443,00.html>.

◆ 新聞記事

- ・ 雑誌記事に準じます。

- N: 1. Editorial, *Philadelphia Inquirer*, July 30, 1990.
2. Mike Royko, "Next Time, Dan, Take Aim at Arnold," *Chicago Tribune*, September 23, 1992.
3. Obituary of Claire Trevor, *New York Times*, April 10, 2000, national edition.
4. "Pushcarts Evolve to Trendy Kiosks," *Lake Forester* (Lake forest, IL), March 23, 2000.
5. Gretchen Morgenson, "Applying a Discount to Good Earnings News," Market Watch, *New York Times*, sec. 3, April 23, 2000.
6. David Clemens, letter to the editor, *Wall Street Journal*, April 21, 2000.
7. 山内慶太「小泉信三温かな素顔」『日本経済新聞』2008年7月8日朝刊。

◆ インタビュー

- ・ 未発行（未発表）のインタビュー

- N: 1. Andrew Macmillan (principal adviser, Investment Center Division, FAO), in discussion with the author, September 1998.

- ・ 匿名者へのインタビュー

- N: 2. Interview with health care worker, August 10, 1999.

- ・ 発行物または放送番組でのインタビュー

- N: 3. McGeorge Bundy, interview by Robert MacNeil, *Macneil/Lehrer NewHour*, PBS, February 7, 1990.

- B: Bellour, Raymond. "Alternation, Segmentatin, Hypnosis: Interview with Raymond Bellour." By Janet Bergstrom. *Camera Obscura*, nos. 3-4 (Summer 1979): 89-94.

◆ インターネット上の情報

- ・ オンライン版の定期刊行物を除き、インターネット上の情報を引用した場合には、コンテンツの著者名、ページの題名、ウェブサイトの題名もしくはサイト所有者名、URL を記してください。

- N: 1. Evanston Public Library Board of Trustees, "Evanston Public Library Strategic Plan, 2000-2010: A Decade of Outreach," Evanston Public Library, <http://www.epl.org/library/stragetgic-plan-00.html> (accessed July 18, 2002).

- B: Evanston Public Library Board of Trustees. "Evanston Public Library Strategic Plan, 2000-2010: A Decade of Outreach." Evanston Public Library. <http://www.epl.org/library/stragetgic-plan-00.html>.

- ・ コンテンツ著者が記されていない場合、サイト所有者を代用する。

- N: 2. Federation of American Scientists, "Resolution Comparison: Reading License Plates and Headlines," <http://www.fas.org/irp/imint/resolve5.htm>.

- ・ 私的网站等で題名等が記されていない場合、説明的な語句や表現を記す。

- N: 3. Camp Taconic Alumni, 1955 photo gallery, <http://www.taconicalumni.org/1955.html>.

4. Pete Townshend's official Web site, "Biography," http://www.petetownshend.co.uk/petet_bio.html.

〔参考例：日本医療・病院管理学会の執筆要領〕

※詳細は同学会のウェブサイトを参照してください。

- ・ 雑誌の場合は、著者名、表題、雑誌名、巻数（号数）、頁一頁、発行年の順に記してください。この際、頁には文献の最初の頁と最後の頁を記載してください。また、通巻頁が付されている場合には、号数を略すことができます。発行年には西暦を採用してください。なお著者名は、原則として筆頭者以下３人までは全員の氏名を記し、４人目以降については省略して"他"または"et al"を付けてください。

（例） 大道久、梅里良正、中村晃、他、医療費構造から見た大学病院の診療特性の比較に関する研究、病院管理、26(3)、199-207、1989

Mills R, Fetter RB, Riedel DC, et al, AUTOGRP : An interactive computer system for the analysis of health care data, Medical Care, 14(7), 603-615, 1976

- ・ 編集された本に収められた論文の場合には、著者名、論文表題、書名（編集名）、発行所（発行地）、頁一頁、発行年の順に記してください。

（例） 宮澤健一、社会保障思想の生成と背景、社会保障論の新潮流（社会保障研究所編）、有斐閣（東京）、3-9、1995

- ・ 単行本の場合は著者名、表題、発行所（発行地）、頁一頁、発行年の順に記してください。この際に、内容を全般的に引用する場合には、頁は記載しなくてもかまいません。

（例） 古谷野亘、長田久雄、実証研究の手引き、ワールドプランニング（東京）、154-157、1992

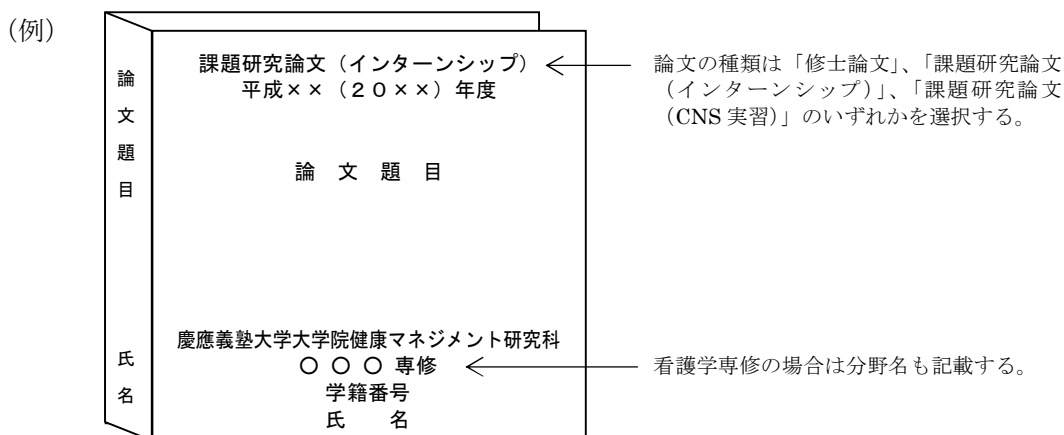
Armitage P, Berry G, Statistical Methods in Medical Research 3rd ed., Blackwell Science (Oxford), 375-380, 1994

Pocock SJ, Clinical Trials : A Practical Approach, John Wiley & Sons Ltd. (Chichester), 1983（コントローラー委員会監訳、クリニカルトライアルよりよい臨床試験を志す人たちへ、篠原出版、1989）

- ・ Web サイトの場合は、作成者(分かれば)、タイトル、アドレス(URL)、アクセスした日付の順に記してください。

8. 審査用論文の提出

- ・ 審査用の論文（論文要旨含む）をファイルに綴じこみ、審査員（主査および副査）の人数分を、指定期日に、事務室宛提出してください
- ・ ファイルの表紙には論文題名、専修、学籍番号、氏名を記してください。背表紙には論文題目（主題だけでも可）と氏名を記してください。
- ・ ファイルの仕様については特段の規定はありません。ファイルは看護医療学部校舎内大学生協にて入手することができます。
- ・ 審査用の論文とは別に、論文要旨 1 枚を事務室宛に提出してください。



9. 製本用論文の提出

- ・ 審査終了後、製本用論文および論文要旨（論文を構成するものとは別）を、指定期日までに、事務室宛提出してください。
- ・ 製本用論文および論文要旨には穴を開けずに綴じるファイルを使用してください。
- ・ ファイルの表紙には論文題名、専修、学籍番号、氏名を記してください。背表紙には論文題目（主題だけでも可）と氏名を記してください。
- ・ 論文の訂正は、原則としてできません。ただし、指導教員（主査）の判断により、誤字、脱字、落丁など、内容に大きな影響を与えない「体裁を整える」範囲で一部訂正することができます。訂正する場合には指導教員の指示にしたがってください。手続きの詳細については『大学院健康マネジメント研究科ガイド』を参照してください。

10. 参考文献

河野哲也『レポート・論文の書き方入門』第3版（東京：慶應義塾大学出版会，2002）

櫻井雅夫『レポート・論文の書き方：上級』（東京：慶應義塾大学出版会，1998）

University of Chicago Press. *The Chicago Manual of Style*. 15th ed. Chicago: University of Chicago Press, 2003.